



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部  
発行者 齋藤庄司  
編集者 中堤聡司  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2007.10.10  
第1390号

# 大会 特集号

## 第63回 定期地方大会

# 4者・4団体を軸に解決目指す

## 「組織拡大・労働条件改善に全力」



大会は、一三時に阿部副委員長の開会挨拶で始まり、代議員四六人中四四人の出席を確認し大会の成立を宣言。議長に佐々木研司代議員(盛岡駅連合分会)、副議長に殿村祝詞代議員(大湊地域分会)を選出し、佐々木議長の就任挨拶を受け議事に入った。

最初に地方本部を代表し高橋委員長が挨拶(別掲)。続いて、多くの来賓(別掲)の方々から激励と支援・連帯の貴重な挨拶を戴いた。その後、岩脇執行委員が大会へのメッセージを紹介、近藤執行委員から大会期日の延期・承認が提案、承認され、選挙管理委員会長の設置を確認。小林書記長から協約協定の締結が提案され承認。続いて、書記長が経過報告と二〇〇七年度運動方針(案)を提案、二人代議員から経過での質疑を受け経過が承認された。引き続き、二〇〇六年度決算報告が書記長、会計監査報告が山田会計監査員から行われ決算が承認された。一日目最後は、佐々木陸美選管長(北上施設分会)から地本役員、地方委員の告示が報告され休会となった。

二日目は九時に再開。伊藤東日本本部委員長からの挨拶を受け、三浦職員が国労会館・相互援護会などの事業報告。機関紙コンクール表彰、組検答申が提案・承認され、運動方針の討論に移った。

方針討論では、一八人が発言した。要旨は次の通り。

●佐々木政治代議員 (青森運輸分会)  
▽青森車両センター青森派出所 来年三月には廃止。今後の職場に多くの組合員が転勤も含め不安を持っている。エリア移動に応募し青森へという声も出る。見通しはどうか。

●鈴木誠代議員 (北上駅連合分会)  
▽昇進試験今年も駄目な組合員、まだ二等級だ。自動昇格制度も取り組んでほしい。

●野田茂志代議員 (八戸貨物分会)  
▽二人の分会、貨物会社の仕事がなく、地元に残りたくて出向に出ている。



地方闘争委員会を代表し一言挨拶を申し上げます。JR不採用事件について、四者・四団体の団結のもと政治・政府での解決を求め臨時国会に全力をあげていく。今日の政治情勢もあり、衆議院の解散も視野に入れて取り組まなければならない。年末、遅くとも年度末の三月までに解決への足場を固めていきたい。解決に向けた取り組み、一県一集会をはじめとした大衆行動に全力をあげ、そして一月三〇日の全国一万人集会を成功させ、国労としての解決の意思を内外に示してい

きたい。盛岡も一〇月二八日の岩手県集会に全力をあげて取り組んでほしい。現在闘っている裁判闘争の決断も迫られているが、四者・四団体と十分対応し判断していく。

最後に、先の全国大会で図らずも自身が本部委員長に就任した。六本木委員長、高嶋委員長と節目に盛岡から委員長が就任している。因縁めいたものを感じるが四者・四団体の闘いの構築で、この機会に不採用事件の解決をと全力で奮闘していきたい。共に闘って行こう。

安倍首相が九月二日突然辞任した、この一年は何だったのか。「聖域なき構造内閣」を強行した小泉内閣を引き継いだ安倍内閣は、「戦後レジームからの脱却」「再チャレンジ」「教育再生」などを掲げ、「愛国心」を盛り込んだ新教育基本法を強行し改憲策動を一段と加速させました。「国民投票法案」が成立、憲法改悪の動きがいよいよ予断を許さない状況となっている。これらを生み出し、膨張させたなかで参議院選挙が実施されました。結果は、自民・公明党の政権与党の歴史的大敗となり、新たな政治的激動局面を作りつつあります。安倍首相は反省もせず続投を表明、内閣改造で国民をほぐらかし、あくまでもアメリカと大企業のための改革に固執していました。安倍首相が辞任を表明した直後で前代未聞だ。翌日には入院、臨時代理も置かず、入院中も最高権力者たりつづけたとはなんと無責任なことか。その後自民党は国民生活を無視するかのよう国会を空転させて一四日間に及ぶ自民党総裁選挙を実施し福田康夫が国会で首相に指名された。またしても世襲における二世議員の首相。福田首相は小泉純一郎元首相当時の官房長官でありアメリカ力追従の外交、格差社会の拡大、貧困層の増大、国民生活の破壊につながる政策を構築したA級戦犯といえる。今後、新たな政治局面のもとで、福田内閣の悪政に反対するとともに、当面する重要政治課題である「テロ特措法」の延長を許さない闘いが求められている(中)

### 高橋委員長あいさつ(要旨)

地方闘争委員会を代表し一言挨拶を申し上げます。JR不採用事件について、四者・四団体の団結のもと政治・政府での解決を求め臨時国会に全力をあげていく。今日の政治情勢もあり、衆議院の解散も視野に入れて取り組まなければならない。年末、遅くとも年度末の三月までに解決への足場を固めていきたい。解決に向けた取り組み、一県一集会をはじめとした大衆行動に全力をあげ、そして一月三〇日の全国一万人集会を成功させ、国労としての解決の意思を内外に示してい

### 方針討論 労働条件改善・昇進実態 並行在来線問題など議論

#### 18人の代議員が発言

方針討論では、一八人が発言した。要旨は次の通り。

### ていこう

安倍首相が九月二日突然辞任した、この一年は何だったのか。「聖域なき構造内閣」を強行した小泉内閣を引き継いだ安倍内閣は、「戦後レジームからの脱却」「再チャレンジ」「教育再生」などを掲げ、「愛国心」を盛り込んだ新教育基本法を強行し改憲策動を一段と加速させました。「国民投票法案」が成立、憲法改悪の動きがいよいよ予断を許さない状況となっている。これらを生み出し、膨張させたなかで参議院選挙が実施されました。結果は、自民・公明党の政権与党の歴史的大敗となり、新たな政治的激動局面を作りつつあります。安倍首相は反省もせず続投を表明、内閣改造で国民をほぐらかし、あくまでもアメリカと大企業のための改革に固執していました。安倍首相が辞任を表明した直後で前代未聞だ。翌日には入院、臨時代理も置かず、入院中も最高権力者たりつづけたとはなんと無責任なことか。その後自民党は国民生活を無視するかのよう国会を空転させて一四日間に及ぶ自民党総裁選挙を実施し福田康夫が国会で首相に指名された。またしても世襲における二世議員の首相。福田首相は小泉純一郎元首相当時の官房長官でありアメリカ力追従の外交、格差社会の拡大、貧困層の増大、国民生活の破壊につながる政策を構築したA級戦犯といえる。今後、新たな政治局面のもとで、福田内閣の悪政に反対するとともに、当面する重要政治課題である「テロ特措法」の延長を許さない闘いが求められている(中)

地方本部は、第六三回定期地方大会を九月二九日・三〇日の両日、雫石町の南部富士見ハイツで開催した。関係者約一〇〇人が参加した。

方針討論では一八人の代議員が発言し、JR職場・出向先の労働条件、新幹線新青森駅開業に伴う並行在来線、一括解除後の昇進試験結果と職場の状況、組織拡大、貨物関係、採用差別事件などが中心に議論された。そして、「不採用事件は、四者・四団体の団結を軸に解決を目指す」「安全・仕事・生活・健康・安全・安定輸送の確立と労働条件の改善を図る」「和解を活かし差別の是正と組織拡大に取り組む」「並行在来線は貨物問題も含め、住民福祉の問題として取り組む」ことなどの取り組みを決定した。

今年度は役員改選の年であり齋藤庄司委員長(盛岡運輸区)をはじめ裏面記載の新任役員を選出、高橋伸二本部委員長を支え運動の展開を意思統一し終わった。

### 来賓・メッセージ

中村平和環境岩手県労働組合センター副議長、柴谷運輸労連岩手県連合会議長、伊沢社会民主党岩手県連合幹事長、

若山日本共産党岩手県委員会副委員長、小野寺東北労金岩手県本部部長、吉田全労済岩手県本部専務理事、浦山岩手県民共済会専務理事、三浦

全国交通共済生協東北日本事業本部東北支所副本部長、濱中国労本部書記長、伊藤東日本本部委員長、葛西国労闘争団全国連絡会事務局長、小田嶋鉄道退職者の会盛岡地方連合会事務局長、国労盛岡地方議員団(奈良岡青森県議、木村岩手県議、久保岩手県議、阿

部花巻市議、三浦北上市議、星北上市議、齋藤青森市議、山崎矢中町議、本宮前盛岡市議、高橋家族会会長。

運動労連岩手県連合会、自治労岩手県本部、岩手県教職員組合、岩手県高等学校教職員組合、自治労岩手県職員労

動組合、岩手県交通労働組合、全国一般・岩手中小労働組合、国鉄闘争支援中央共闘会議、国労東北協議会、国労仙台地本、国労水戸地本、国労秋田地本、国労高崎地本、国労新潟地本、国労長野地本、国労東京地本、国労千葉地本。



5点について集約したい。不採用事件の早期全面解決を求めている。

定期全国大会で確認された「四者・四団体」の団結を解

輸送障害の多発や、重大事故に繋がりかねない事故が連続、効率化・「合理化」に大

きな要因。労働条件改善、輸送障害対応、安全とサービスなど多くの問題を抱えている。

生活実態アンケート調査をもとにした中央委員会決定で

二一人が国労加入。若い人たちの心をどう国労に傾けさせるのかを念頭に置き、組織の拡大に全力をあげる。

現在、労働者・勤労国民の生活と将来への不安は頂点に達している。格差は正、年金・医療、憲法改悪・労働法制改悪など政治課題が山積している。

二〇〇七年度の地方委員が次のとおり選出された。

高橋 涼(盛岡貨物分会) 今井 憲俊(花輪線地域分会) 鈴木 誠(北上駅連分会)

# 課題解決にむけ政治闘争強化を

## 小林書記長集約(要旨)



田村公治代議員 (青森貨物分会)



成田芳隆代議員 (青森建設分会)



吉田一久代議員 (一関運輸分会)

ているのか、早めの情報を。秋本樹代議員 (盛岡駅連分会) マリモートマルス五六駅を二〇人で担当している。ひとり一日二〇〇から二五〇件に対応している。職場では、病気の人が多く、機器の関係も原因を調査してほしい。

強化し、全野党協力での解決を目指している。分会でも取り組んでいるが、アルバの取り組みも大切だ。

委員も考えていく。八戸臨海の処分、ワンマン社長のやったものであり、推移を見たい。労基署の活用も考えたい。

△東青森駅の死亡貨物事故、合理化の影響も考えられる。再発防止に向け、職協、分会と意思統一していく。

△今年度は組合差別のないよう取り組んでほしい。佐々木陸美代議員 (北上建設分会) △昇進・昇格試験、主任二人指導五人が一次をクリアしているが、国労が新採に仕事を教える。数年後にその人が合格し、国労は駄目という現実だ。納得できない。取り組みを強化してほしい。

△一年前にテレホンセンターから一ノ関駅に帰っているが、要員不足で駅も仕事増だ。△和解後も差別はある。年休でも東労組の行事が優先されている。

△折戸俊幸代議員 (盛岡駅連分会) △テレホンセンターの職場要求、盛岡支社は扱わない。どこと交渉すればいいのかわからない。また、出向期間三年の原則だが六年の人もいる。三年復帰運動強化してほしい。交流会も検討してほしい。

△阿保光春特別代議員 (青森支部) △青森の六ヶ所、大間の反核・反原発の闘いに地本全体での取り組みをお願いしたい。

△出向会社の業務が厳しい。交渉ルールの確立が大切。△貨物会社の和解の動きはどのような状況か。

# 執行部・本部中間答弁(要旨)

△青森車両センターの職場問題、提案された連絡する。△昇進・昇格問題、東日本本部大会でも検証の取り組みを確認している。受験の闘いも大切だ。

△東青森駅の死亡貨物事故、合理化の影響も考えられる。再発防止に向け、職協、分会と意思統一していく。

△今年度は組合差別のないよう取り組んでほしい。佐々木陸美代議員 (北上建設分会) △昇進・昇格試験、主任二人指導五人が一次をクリアしているが、国労が新採に仕事を教える。数年後にその人が合格し、国労は駄目という現実だ。納得できない。取り組みを強化してほしい。

△折戸俊幸代議員 (盛岡駅連分会) △テレホンセンターの職場要求、盛岡支社は扱わない。どこと交渉すればいいのかわからない。また、出向期間三年の原則だが六年の人もいる。三年復帰運動強化してほしい。交流会も検討してほしい。

# 役員改選 齋藤委員長始め 新役員を選出

## 5氏が退任

今大会は、役員改選期であり、高橋伸二委員長(北上建設分会)・本部委員長就任、岩脇勇(盛岡運輸区分会)・近藤信博(盛岡駅連分会)・執行委員、高橋正行(北上建設分会)・山田修(青森電気分会) 監査委員が退任し、齋藤庄司(盛岡運輸区分会) 委員長以下の役員が選出された。新役員は次の通り。

執行委員長 齋藤 庄司(盛岡運輸区分会) 執行副委員長 阿部 一久(八戸運輸分会)

高橋 伸二(執行委員長) 岩脇 勇(執行委員長) 近藤 信博(執行委員長) 高橋 正行(会計監査員) 山田 修(会計監査員)

高橋 涼(盛岡貨物分会) 今井 憲俊(花輪線地域分会) 鈴木 誠(北上駅連分会) 島山 孝(北上建設分会) 吉田 一久(一関運輸分会) 小沢万寿男(釜石地域分会) (青森支部) (六人)

確立など国労の態度を示し、会社からも理解されており、今後の交渉に臨んでいく。

△全野党での採用差別事件の早期解決の取り組みは、全国大会で確認している。

△シニア・年金制度に伴う学習会は検討していく。

△テレホンセンターの交渉について、前に進むよう取り組み、今年度は組合差別のないよう取り組んでほしい。

△折戸俊幸代議員 (盛岡駅連分会) △テレホンセンターの職場要求、盛岡支社は扱わない。どこと交渉すればいいのかわからない。また、出向期間三年の原則だが六年の人もいる。三年復帰運動強化してほしい。交流会も検討してほしい。

△長期転勤者問題、粘り強く取り組んでいくしかない。支社には要請している。

△新幹線新青森駅開業に伴う資料については、提案された次第、分会に出していく。

△東青森駅の死亡貨物事故、合理化の影響も考えられる。再発防止に向け、職協、分会と意思統一していく。

△今年度は組合差別のないよう取り組んでほしい。佐々木陸美代議員 (北上建設分会) △昇進・昇格試験、主任二人指導五人が一次をクリアしているが、国労が新採に仕事を教える。数年後にその人が合格し、国労は駄目という現実だ。納得できない。取り組みを強化してほしい。

△折戸俊幸代議員 (盛岡駅連分会) △テレホンセンターの職場要求、盛岡支社は扱わない。どこと交渉すればいいのかわからない。また、出向期間三年の原則だが六年の人もいる。三年復帰運動強化してほしい。交流会も検討してほしい。

# 大会スナップ



大会は佐々木議長(左)と副議長(右)殿村氏で進められた。



機関紙コンクール最優秀賞は「可動橋」青森駅連分会



会計監査報告をする山田監査員



大会宣言を読みあげる小野寺婦人部長



濱中本部長



葛西競争団体連絡会事務局長



伊藤東日本本部委員長



高橋地本家族会長

# 共に頑張ろう

# 来賓の方々も頑張れと



役員を退任する左から岩脇、近藤、山田、高橋氏。あいさつは高橋監査員。

役員を退任する左から岩脇、近藤、山田、高橋氏。あいさつは高橋監査員。新執行部。左から田中、中堤、佐々木、高橋、阿部、小林、菊池、山田氏。あいさつは齋藤委員長。議員団も共に頑張ると挨拶。左から星、山崎、三浦、阿部、奈良岡、本宮、斎藤、久保、木村の各氏。スト権は43人全員賛成で確立